

## TOPICS

## 乗用車の販売台数（新車および中古車）、軽乗用車の新車販売台数の推移

2003年の新車販売台数は乗用車（普通車、小型車の合計、以下同じ）が前年比1.1%増の3,168,195台、軽乗用車（軽自動車のうちの乗用車）が同1.2%減の1,291,824台となった。

また、全国の中古車販売台数（乗用車）は前年比1.2%減の4,550,473台だった。

一方、奈良県の新車販売台数は乗用車が前年比1.6%減の40,070台、軽乗用車は同1.2%減の14,552台となった。

## ■新車販売台数の推移（全国）

2003年の全国の新車販売台数（乗用車）は3,168,195台となり前年比では1.1%増となった。

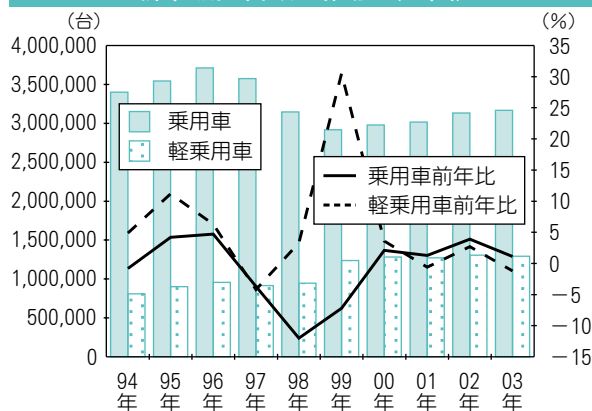
過去10年間の推移をみると、1994年から1996年まで増加した後、1996年から1999年まで減少基調にあったが、2000年から4年連続でわずかながら増加を続けている。

一方、2003年の全国の軽乗用車販売台数は1,291,824台となり前年比1.2%減となった。

過去10年間の推移をみると、1994年から1998年まで一進一退を続けていたが、規格変更（※）により1999年に大きく増加し、2000年以降は同水準で推移している。

※衝突時の安全基準を向上させる目的で1998年10月に行われ、これにより軽自動車の安全性、居住性がアップした。

## ■新車販売台数の推移（全国）



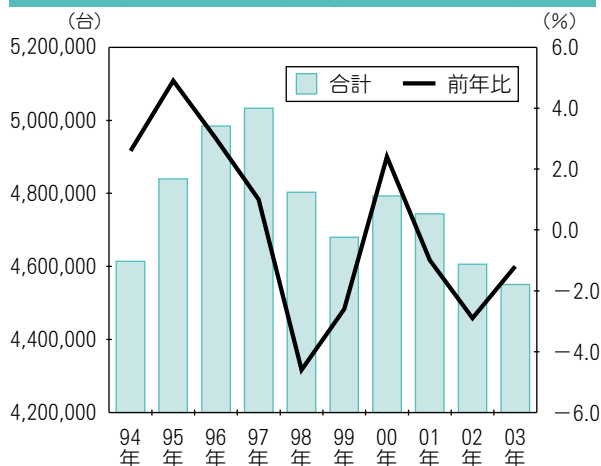
## ■中古車販売台数の推移（全国）

2003年、全国の乗用車の中古車販売台数は

4,550,473台となり前年よりわずかながら減少した。

過去10年間の動きをみると、販売台数は460万台から500万台の幅で推移しており、1994年から1997年まで増加した後、1998年以降は一進一退を続けているが、やや減少基調にある。

## ■中古車販売台数（乗用車）の推移（全国）



## ■車種別（普通車、小型車）の内訳

つぎに新車・中古車（乗用車）をそれぞれ普通車と小型車に分けて10年間の推移をみてる。

新車では普通車、小型車ともやや減少基調にあるものの、ここ数年はほぼ横ばいで推移している。

しかしながら中古車市場には大きな変化が見られる。

91年には約400万台販売された小型車は徐々に減少していく一方で、当時50万台にも満たなかった普通中古車は年々増加し、94年には普通

新車の台数を抜き、小型中古車に迫る勢いで上昇している。

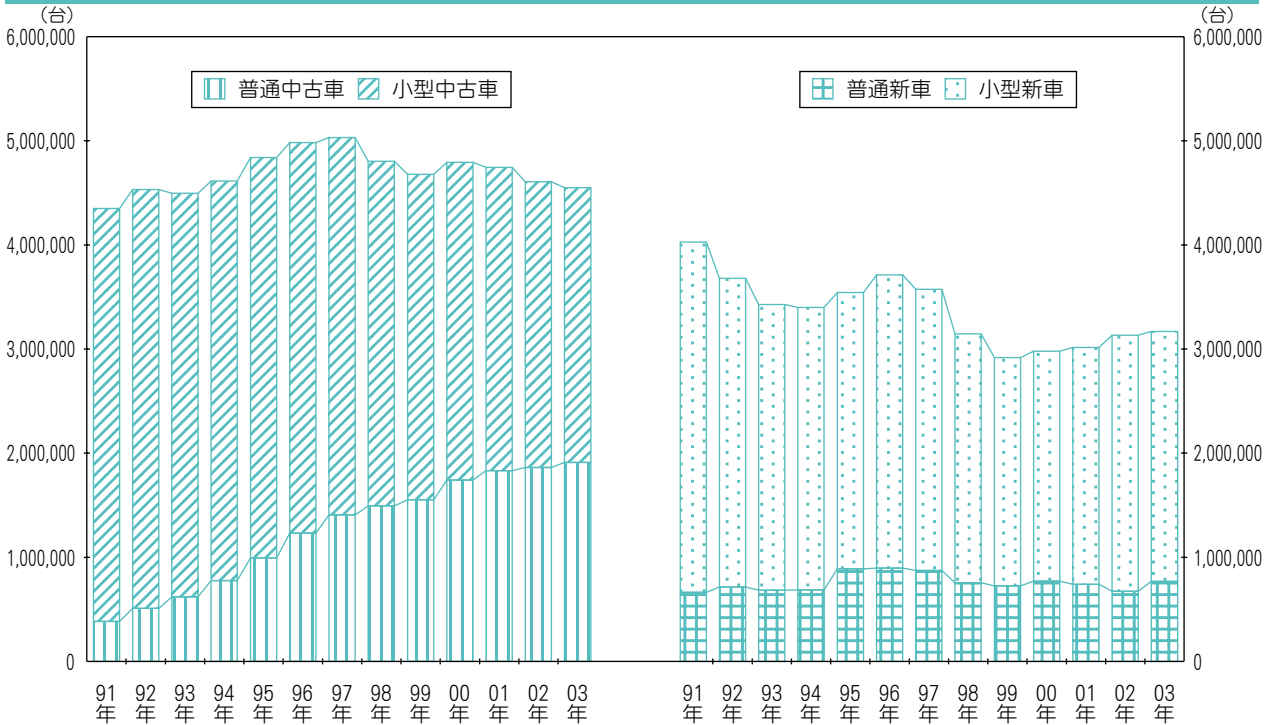
そして、2003年には小型中古車の264万台に対し普通中古車191万台と差が73万台にまで縮まってきている。

この原因としては、車の相対的な価格の低下、

中古車市場での普通車の絶対量の増加、小型車に比べ高価格な普通車の市場価値などがあげられよう。

したがって、中古車市場全体のパイ自体はさほど変わらないものの、小型車から普通車へのシフトに伴い1台当たりの価格は上昇していると考えられる。

普通車、小型車別にみた販売台数の推移（全国）



### ■奈良県内の動き

奈良県内の動きをみると2003年の乗用車販売台数は前年比1.6%減の40,070台、軽乗用車販売台数は同1.2%減の14,552台となった。

過去10年の推移を全国と比較すると、軽乗用車では奈良県は全国と同じ動きをしている。

一方乗用車は1994年から2000年までは同じ動きをしているが、2001年以降は全く逆の動きを示している。

資料出所（本文およびグラフ）

- 全国の乗用車：日本自動車販売協会連合会
- 全国の軽乗用車：全国軽自動車協会連合会
- 奈良県の乗用車：近畿運輸局奈良陸運支局
- 奈良県の軽乗用車：奈良県軽自動車協会

乗用車、軽乗用車販売台数（新車）の奈良県と全国の比較

